

飛騨市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果

- 1 点検及び評価を行った期日 令和3年8月24日(火)
- 2 点検及び評価の会議を行った場所 飛騨市図書館2階 情報発信室
- 3 点検及び評価を行った会議 令和3年第7回教育委員会
- 4 点検評価委員(7名) 社会教育委員の会委員長、河合小学校学校運営協議会委員、神岡小中学校学校運営協議会委員
飛騨市PTA連合会会長、同母親代表、飛騨市文化協会会長、飛騨市スポーツ協会会長
- 5 点検及び評価を行った会議に出席した者
(飛騨市教育委員会)
教育長 沖畑 康子、 委員 向川原 眞郷、 委員 平澤 千人、 委員 牛丸 洋子

(説明のため出席した飛騨市教育委員会事務局職員)
事務局長兼教育総務課長 野村 賢一、 学校教育課長 中村 裕幸、 生涯学習課長 古田 善尚
スポーツ振興課長 大始良 透、 文化振興課長 大上 雅人、 教育総務課長補佐 仲島 孝子
- 6 点検及び評価の対象事務 飛騨市教育委員会の権限に属する令和2年度の事務
- 7 点検及び評価の方法
飛騨市教育委員会事務点検評価実施要領(平成21年飛騨市教育委員会訓令第1号)第3条の規定により、飛騨市教育委員会事務局各課が第1次評価した「飛騨市教育委員会事務点検評価資料」により、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条第2項の規定に基づく飛騨市教育委員会事務点検評価委員会を開催し、教育に関し学識経験を有する者からの意見聴取を行った後、令和3年8月30日開催の令和3年第7回教育委員会において、令和2年度の飛騨市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行った。

8 飛騨市教育委員会が飛騨市教育委員会事務点検評価委員会に意見聴取を行った期日及び場所

第1回 期日 令和3年8月 6日(金)

場所 飛騨市図書館 2階 情報発信室

第2回 期日 令和3年8月24日(火)

場所 飛騨市図書館 2階 情報発信室

9 飛騨市教育委員会事務点検評価委員会の飛騨市教育委員会に対する意見

飛騨市教育委員会の権限の属する令和2年度事務の点検及び評価については、飛騨市教育委員会事務局各課が行った第1次評価から2事業を修正評価した。

10 点検及び評価の結果

別紙「令和3年飛騨市教育委員会事務点検評価結果」のとおり

令和 3 年飛騨市教育委員会事務点検評価結果

令和 2 年度教育委員会の活動状況 点検評価シート
令和 2 年度事務事業の執行状況 点検評価シート

飛騨市教育委員会

点 検 評 価 シ ー ト 目 次

担 当 課	事 務 事 業 名	評 価	事業番号
教 育 総 務 課	教育委員会会議の状況、調査活動の状況等	A	1
	小中学校施設整備事業	A	2
	飛騨市育英基金貸付事業	A	3
	スクールバス運営事業	A	4
	学校給食運営事業	A	5
学 校 教 育 課	飛騨市学園構想の推進	A	6
	スタディーサポーター（学習支援員の配置）	A	7
	英語教員指導員・英語指導講師の配置	A	8
	I C Tを効果的に活用した授業づくり	A	9
	プログラミング教育の推進	A	10
	保小中連携教育の推進	A	11
生 涯 学 習 課	社会教育推進事業	A	12
	飛騨市青少年育成推進事業	A	13
	公民館管理運営事業	A	14
	各種講座・学級の開催事業	B	15
ス ポ ー ツ 振 興 課	スポーツ推進委員活動事業	A	16
	スポーツ団体育成事業	A	17
	スポーツ行事推進事業	A	18
	ウォーキング推進事業	A	19
	スポーツ施設整備事業	A	20
文 化 振 興 課	図書館機能の充実事業	A	21
	飛騨市美術館運営事業	A	22
	地域歴史資源活用事業	A	23
	地域文化振興補助事業	B	24

様式第1号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート（事業番号 1）

飛騨市教育委員会

項 目		実 績	成 果 ・ 課 題	評 価
教育委員会 会議の状況	会 議	【開催回数】 9回（定例会） 【審議件数】 議案 38件、承認 12件 報告 5件、合計 55件	学校教育を始めとする教育全般について、事業内容、予算、教育委員会規則改正等、教育事業に必要な議題について、多様な議論を重ね、審議することにより、教育行政の質の向上につながった。	A
	協議会	【開催回数】 10回、臨時協議会1回 【主な内容】 ・飛騨市スポーツ施設条例の改正について ・飛騨市育英基金貸付事業について ・各種後援名義等の使用許可報告について ほか	各種教育関連事業の現状や結果の報告を行い、それを踏まえた協議を重ね、市が目指す教育行政について、より良い方向付けができた。	
	事務点 検評価 委員会	【事務点検評価委員会の開催】 ・日時 令和2年8月5日、24日 2回開催 ・内容 教育委員会事務局が行った第1次評価に対する審議と意見聴取 【事務点検評価の最終評価】 ・令和2年8月27日開催、第7回教育委員会において最終評価 ・議会への報告 令和2年8月30日	教育委員会の事務事業の内容について、第三者で構成する事務点検評価委員会により審議を行うことで課題について改めて確認できた。また教職員の職務軽減について部活動指導員の導入が継続され、教員の働き方改革の一環として運用している。また委員の意見により次年度の施策につなぐことで、教育行政の質の向上を図ることができた。評価結果の市議会への報告及び市ホームページ掲載により、教育委員会の活動状況について周知を行っている。	
調査活動の状況等		・小中学校の入学式への参列なし ・小中学校の学校訪問一部実施、卒業式参列、運動会、体育祭の参観なし ・市町村教育委員会オンライン協議会参加（文科省主催） ・新任教育委員研修2名参加	コロナ禍により、小中学校への入学式をはじめ、訪問や運動会、体育祭への参観がほとんどできなかったが、文科省主催のオンライン協議会や新任教育委員研修会等、可能な範囲で参加することができた。	A

様式第 2 号 (第 4 条関係)

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 2)

飛騨市教育委員会・教育総務課

重点 施策	重点 目標	令和 2 年度の目標	担当課	令和 2 年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
快適な教育環境の整備	学校施設の整備	<p>小中学校施設整備事業</p> <p>○小中学校体育館 非構造部材耐震化事業 各小中学校体育館の天井材や照明設備等の非構造部材の耐震化を図る。</p> <p>○神岡小学校大規模改修 工事 昭和 6 1 年建築の神岡小学校校舎は、老朽化が顕著であり、外壁にはアスベストが含まれていることから安全対策を図る必要がある。令和 3 年度から令和 4 年度に大規模改修を実施するため協議を重ねる。</p>	教育総務課	<p>【決算額】</p> <p>○小学校体育館非構造部材耐震化事業 76,841 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古川西小学校体育館非構造部材耐震化（建築）工事 31,311 千円 ・古川西小学校体育館非構造部材耐震化（電気）工事 7,251 千円 ・河合小学校体育館非構造部材耐震化（建築）工事 29,479 千円 ・河合小学校体育館非構造部材耐震化（電気）工事 8,800 千円 	<p>○小中学校体育館非構造部材耐震化事業 計画に基づき令和 2 年度に予定していた古川西小学校、河合小学校の 2 校の体育館非構造部材耐震化工事について、国の補助（学校施設環境改善交付金）を活用し実施した。 令和 2 年度事業をもって、飛騨市内小中学校体育館非構造部材の耐震化は完了した。</p> <p>○神岡小学校大規模改修工事 令和 3 年度から 4 年度にかけて、外壁工事を核とした大規模改修工事を実施し安全対策及び老朽化対策、教育環境改善を図る。</p> <p>【令和 3 年度実施予定工事内容】 外壁改修工事 放送機器改修工事 屋根改修工事</p> <p>【令和 4 年度実施予定工事内容】 外壁改修工事 その他令和 3 年度中に再協議</p>	A

様式第 2 号 (第 4 条関係)

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 3)

飛騨市教育委員会・教育総務課

重点 施策	重点 目標	令和 2 年度の目標	担当課	令和 2 年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
地域が 一体となつた青少年健全育成の推進	将来を担う人材育成 (飛騨市育英基金貸付事業)	<p>飛騨市育英基金貸付事業</p> <p>飛騨市の将来を支える若者が、経済的理由により就学をあきらめることなく、勉学に励むことができるよう貸付事業を実施する。</p> <p>○拡充制度の実施 学費が賄えず進学を断念する優秀な若者を支援するため、低所得者世帯等がより利用しやすい制度を実施する。</p>	教育 総務 課	〔決算額〕	<p>令和 2 年度は左記の貸付を実施した。 新規貸付者は平成 20 年度の 41 名を最大に減少傾向にあり、令和 2 年度は 13 名となった。より多くの方に制度を活用していただけるよう、平成 29 年度には低所得者に対する支援をより一層厚くする償還免除型の制度拡充を、令和 2 年度からは成績要件だけではなく、スポーツや芸術分野等で秀でた人物等への貸付申請を可能とするチャレンジ枠の設立や大学校や職業訓練校等対象校の拡充を実施している。</p> <p>飛騨市では、国の奨学金制度に比べ、所得判定基準を低く設定し対象者を多少絞っているが、その中でも低所得者層に対する支援として卒業後の地元就職者は全額免除、その他は半額免除とし、実質給付型となる償還免除制度を導入している。成果として、その貸与生が、地元に戻り、育ててくれた親や地域を支え、また地元を思い各地域で活躍する人材となることが期待される。</p>	A
				<p>R2 末基金総額 449,900 千円</p> <p>R2 年度寄付金増資 200 千円</p> <p>貸付総額 242,534 千円</p> <p>現 金 207,367 千円</p> <p>R2 貸付額 47 件 (12 か月) 27,240 千円</p> <p>貸付件数 47 件の内 新規貸付者 13 件</p> <p>R2 償還額 172 件 43,295 千円</p>		

様式第 2 号 (第 4 条関係)

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 4)

飛騨市教育委員会・教育総務課

重点 施策	重点 目標	令和 2 年度の目標	担当課	令和 2 年度の実績・成果と課題		評価	
				実 績	成 果・課 題		
快適な教育環境の整備	スクールのバスの整備運営	<p>スクールバス運営事業</p> <p>市有バスによる小中学生における通常登下校の輸送のほか、プールや部活、補完学習日等の輸送や少子化に伴う乗車児童生徒の減少に合わせたタクシー送迎も取り入れて適正な輸送を実施する。</p>	教育総務課	<p>【決算額】 92,099 千円</p> <p>○スクールバス運行委託 82,900 千円</p>	<p>一年間安心・安全なスクールバス運行に努め、大きな事故も無くスクールバスとしての役割を果たすことができた。</p> <p>通常の登下校に加え、部活、各学校の補完学習日の登下校等にスクールバスを運行し、通学の需要に対応した。</p> <p>また、コロナ感染症対策関連としては 3 密を避けるため利用者が多い路線での複数台運行のほか、運行委託事業者に対し学校臨時休業による 4、5 月のスクールバス運休補償を行った。</p>	A	
		<p>空きバスを利用したフリーバス事業は、市民の社会教育活動等に活用する。</p>		<p>○フリーバス運営事業</p> <p>・利用回数 7 回 利用人数 162 人</p>			<p>フリーバスの運行については、予備バスを有効活用し需要に対応しているが、台数に限りがあるため、今後も対応可能な範囲で社会教育に活用していく。</p>
		<p>スクールバス更新事業は、老朽化したスクールバスを更新基準（購入後 15 年以上経過・走行距離 20 万km以上）に従い、更新購入し、安全・安心な通学手段を確保する。</p>		<p>○車両購入費 9,513 千円</p> <p>・29 人乗りマイクロバス 1 台（河合稲越車）</p>			<p>運用車両の更新について、更新基準に基づき車両の更新を行い、児童生徒の通学環境の確保を行った。今後も順次更新を進めていく。</p>

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 5)

飛騨市教育委員会・教育総務課

重点 施策	重点 目標	令和2年度の目標	担当課	令和2年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
地域の食文化を活かした安全な学校給食の提供	安全・安心な学校給食の提供、学校給食施設の整備運営	学校給食運営事業 安全・安心な学校給食の提供	教育総務課	○安全・安心な学校給食の提供 【決算額】 202,091千円 (主な内訳) ・人件費(正職員・会計任用職員給与) ・燃料費、光熱水費 ・古川国府給食センター負担金	食中毒等の大きな事故が無く、安心・安全でおいしい給食を提供できたことが一番の成果である。アレルギー対応食は生命の安全に関わる業務であるためセンターと学校の連携をとり提供できた。 学校と協力し「食の大切さ」について学ぶ機会を設けた。また、R1年度と同様に、農業振興課と協働で「ふるさと給食の日」を実施し、子どもたちに地産地消の大切さを学んでもらうことができた。 さらに、R2年度からふるさと納税の活用により、デザートなどの等地元産加工品等を積極的に取り入れた給食を提供し、学校給食の向上を図った。 課題としては、近年、調理員不足が深刻となっており、抜本的な改善が求められている。業務委託等を含め引き続き検討する。 日々のメンテナンスはもとより、早め早めの修繕や部品交換により、衛生上及び作業上の安全性を高めた。 物価高騰等厳しい条件の中、メニューや調理方法の改善等の努力により、安全・安心な学校給食の提供が行われた。	A
		食育・地産地消の推奨 学校給食施設の整備運営		(給食延べ食数) 神岡給食センター 95,649食 河合給食センター 13,196食 山之村小中学校 5,952食 (参 考) 古川国府給食センター 220,679食 (古川町部分のみ) ○給食施設の設備更新 【決算額】 435千円 河合食品保冷库購入 435千円 ○給食費特別会計 【決算額】 32,123千円		

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 6)

飛騨市教育委員会・学校教育課

重点 施策	重点 目標	令和2年度の目標	担当課	令和2年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
確 かな 学 力 を つ け る 特 色 あ る 学 校 づ く り の 推 進	教 職 員 の 指 導 力 向 上 ・ 児 童 生 徒 の 資 質 ・ 能 力 の 向 上	<p>飛騨市学園構想の推進</p> <p>飛騨市の保育園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校が目指す子供像（人間像）を実現するために系統性、連続性のある一貫した教育活動を推進する。飛騨市学園構想の推進にあたって、具体的には以下の3プロジェクトを軸として取り組む。</p> <p>①「課題解決能力」を育む保小中高特一貫カリキュラムの試行実施。</p> <p>②学校と家庭・地域が飛騨市の子供の育成についての目標やビジョンを共有し、連携・協働してその実現を図る。（学校運営協議会制度開始）</p> <p>③各校種間交流等の実施のさらなる充実を図る。</p>	学 校 教 育 課	<p>〔決算額〕 3,582千円</p> <p>○<u>コアチーム会議（委員11名）</u> 年23回開催 ※事務局会議：年17回開催</p> <p>○<u>推進委員会（委員28名）</u> 年4回開催</p> <p>6/25 ①委員委嘱、学園構想についてカリキュラム、コミスク説明</p> <p>7/29 ②拡大会議、講演会 「データから考える地域と学校の幸せな関係」講師：阿部剛志 氏</p> <p>8/26 ③部会ごとの「熟議」 同時開催：カリキュラム部会</p> <p>2/26 ④今年度の実践報告 ・学校・運営協議会の報告 ※②と④は、オンラインでも実施</p> <p>○<u>説明、啓発</u></p> <p>9/22 経産省「未来の教室」◇</p> <p>10/23 市保育士会◇</p> <p>12/8 中高一貫評価委員会△</p> <p>12/23 教育委員全国オンライン会議◇ ・上記説明：◇教育長、△課長</p>	<p>○令和2年度は、学園構想の具現化に向けて、コアチーム会議、推進委員会を組織し、熟議を行い、方向性を見いだしながら、着実な歩みを進めた。</p> <p>○推進委員会では、講師による「研修会」、各委員による「熟議」を経て、第4回委員会は「成果報告会」を開催した。カリキュラム部会から2、学校運営協議会から1、地域学校協働活動から2の実践が報告された。3部会における今年度の取組の成果と来年度への展望が明確となる報告であった。</p> <p>◎令和3年度は、3プロジェクトの充実に取り組む。各小中学校において「課題解決型カリキュラム」の実施、飛騨市ビジョンに基づいた資質能力ベースの授業や諸活動を進めていく。各学校運営協議会の推進体制を強化し、地域学校協働活動がより活発化できるようにする。「説明・啓発」は、各団体の既存の会議での説明やフォーラムの開催を通じて学園構想に参画する地域住民の機運を醸成して活動促進を図る。</p>	A

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 7)

飛騨市教育委員会・学校教育課

重点 施策	重点 目標	令和2年度の目標	担当課	令和2年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
一人一人を大切にし 一人一人のよさを伸ばす教育の推進	一人一人のよさを伸ばす教育の推進	<p>スタディーサポーター（学習支援員）の配置</p> <p>市内小中学校に、スタディーサポーター（学習支援員）を配置し、様々な要因により不登校・不登校傾向にある児童生徒への個別の学習支援を行うことで、中学校卒業後の進路を切り拓くことや引きこもり防止対策につなげる。また、状況に応じて通常学級で個別の学習支援を必要とする児童生徒についても学習支援員が関わり支援を行う。</p>	学校教育課	<p>〔決算額〕 5,056千円</p> <p>○スタディーサポーター（学習支援員）配置</p> <p>◎スタディーサポーター ※市会計年度任用職員（2種1号） ※教員免許所有者 ※業務内容は、 ①家庭訪問や学校外での学習支援 ②「グリーンルーム」等での学習支援 ③学校の相談室での学習支援 ④通常学級に通う支援を要する児童生徒への学習支援</p> <p>◎古川中校区 ・梶谷利広指導員 古川中（月・木・金）、古川小（火） 古西小（水） ・坂和貴子指導員 古川中（火・水）、古川小（月・金） 古西小（木） ※学校内（教室・相談室）での指導支援 ※グリーンルーム、こどものこころクリニックにて指導・支援</p> <p>◎神岡中校区 ・松本里江指導員 神岡中（月水木金）、神岡小（火） ※学校内（教室・相談室）での指導支援</p>	<p>○令和2年度は、スタディーサポーターの業務内容を、児童生徒と信頼関係を築きながら、個々の学習状況やニーズに応じた適切な学習支援をすることができた。また、業務内容に加え「こどものこころクリニック」との連携により、そこに通う児童の学習支援も進めることができた。</p> <p>◎令和3年度は、前年度の成果と次年度に向けた希望する児童生徒数とニーズの多様さから、古川中校区を1名増員し、より個々のニーズに応じた学習支援を進めていく。また、「グリーンルーム」や「こどものこころクリニック」との連携を強化し、学校外での学習支援の継続、工夫を進め児童生徒が自分の進路を切り拓くために、自分なりのペースで、継続して学習をしたいという思いを大切に、学習支援を進めていく。</p>	A

様式第2号 (第4条関係)

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 8)

飛騨市教育委員会・学校教育課

重点 施策	重点 目標	令和2年度の目標	担当課	令和2年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
確かな学力をつける特色ある学校づくりの推進	教職員の指導力向上・児童生徒の資質・能力の向上	英語教育指導員・英語指導講師の配置 平成30年度から英語指導講師を2名配置し、教員の外部講師による出前研修を実施するなど取り組んできた。令和2年度は、英語教育指導員を配置し、教員や英語指導講師の指導力の向上、ALT(外国人英語指導助手)との連携強化による英語授業の充実を図り、積極的に英語を使ってコミュニケーションを図ることができる児童の育成を目指す。	学校教育課	<p>〔決算額〕 5,614千円</p> <p>○英語教育指導員2名配置</p> <ul style="list-style-type: none"> 林指導員：神岡中(月)、神岡小・山之村(水木)、古西小(火金) 加藤指導員：古川中(火)、古川小(水木) <p>※主な業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 学級担任と英語指導講師の授業を参観し改善点等の指導助言 英語教育指導員が学級担任役となり、英語指導講師とともにモデルとなる示範授業の実施 教員を対象にした授業研修の実施 <p>○英語指導講師2名配置</p> <ul style="list-style-type: none"> 橋本講師：神岡小(月水)、古西小(火木金) 林講師：宮川小(火)、河合小(金)、古川小(月水木) <p>※主な業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校3、4年生の英語授業を補助する等、学級担任と連携し子ども達の英語好きを増やす指導の実施 	<p>○英語教育指導員は、授業参観を通して指導支援の継続を行った。会議や研修会がなかなかできない状況で、情報交流の工夫をし、授業案を協働で作ったり、評価の仕方を検討したりして、教師のスキルアップにつなげた。</p> <p>○英語指導講師は、担任と連携し授業づくりと授業実施の継続を行った。授業での声かけと評価の工夫により、「英語が好き」という児童が増えた。児童が習得した知識や技能を使って、相手に伝える(表現する)喜びを味わうことのできる授業づくりを担当と共に創り上げた。</p> <p>◎令和3年度も引き続き「授業参観を通して指導支援」「情報交流(ミーティング時間設定)の工夫」による教員、英語指導講師のスキルアップを進める。英語指導講師は、常に担任と連携(参画)し授業づくりを進めるとともに、児童が英語を使って表現することの喜びや楽しさを意識できるように声かけや評価の工夫を進める。</p>	A

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 9)

飛騨市教育委員会・学校教育課

重点 施策	重点 目標	令和2年度の目標	担当課	令和2年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
確 かな 学 力 を つ け る 特 色 あ る 学 校 づ く り の 推 進	教 職 員 の 指 導 力 向 上 ・ 児 童 生 徒 の 資 質 ・ 能 力 の 向 上	<p>ICTを効果的に活用した授業づくり</p> <p>令和元年度までに、各学校1学級分のタブレット型PC、小学校4年生以上と中学校の普通教室に固定式電子黒板、無線LAN、授業用PC、デジタル教科書を整備し、ICT機器を活用した授業づくりの環境整備に取り組んできた。令和2年度は、更なるICT環境整備を行うとともに、ICTを活用した授業づくりの実践を行うことで、直面する課題を主体的に解決するために必要な「課題解決能力」や「情報活用能力」等の育成を進める。</p>	学 校 教 育 課	<p>〔決算額〕 181,428千円</p> <p>○小中学校ICT環境整備事業</p> <p>・電子黒板 ※増級分1台（古川小）</p> <p>・全小中学校の校内LANの高速大容量化 ※全教室でインターネット接続可能</p> <p>・タブレットPC（GIGAスクール構想） ※小4以上1人1台、小1～3は2人1台 ※各校3月に「貸与式」実施</p> <p>・学習支援ツール（デジタル教科書） ※小学校4教科（国・社・算・理）、中学校5教科（国・社・数・理・英）のデジタル教材（教科書）を導入</p> <p>○教職員研修会 10/20 デジタル教科書研修会 12名参加 11/4 タブレット活用研修会①14名参加 1/29 同 ②（神岡小）18名参加 ※講師：岐阜女子大准教授 松井 徹 氏 12/2 白川郷学園視察 17名参加 2/9 ロイロノート研修会 10名参加</p>	<p>○令和2年度は、国の「GIGAスクール構想」に基づき、児童生徒に一人一台のタブレット端末の整備と、小中学校の校内LANの高速大容量化を図り、更なるICT環境整備を進めた。各学校では、こうした整備を受けて、ICTを活用した授業づくりの実践を行い、直面する課題を主体的に解決するために必要な「課題解決能力」や「情報活用能力」等の育成を目指した。</p> <p>○市教育研究所事業として、教職員のスキルアップと積極的なICT機器の活用を目的に、デジタル教科書研修会（1回）、タブレットPC活用研修会（4回）を実施した。</p> <p>◎令和3年度は、引き続きICT環境の整備を進める。（小中学校の理科室、小学校3年生の普通教室に電子黒板・授業用PCを整備）小学校児童用のタブレット端末を増台し、3年生以上での1人1台の使用環境を実現する。専門的な知見を有するICT支援員を配置し、授業における効果的な活用を促すことで、課題解決能力や情報活用能力を備えた飛騨市ならではの人づくりに取り組む。</p>	A

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 10)

飛騨市教育委員会・学校教育課

重点 施策	重点 目標	令和2年度の目標	担当課	令和2年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
確 かな 学 力 を つ け る 特 色 あ る 学 校 づ く り の 推 進	教 職 員 の 指 導 力 向 上 ・ 児 童 生 徒 の 資 質 ・ 能 力 の 向 上	<p>プログラミング教育の推進</p> <p>新学習指導要領では、変化が激しい予測困難な時代を生き抜く子どもを育成するために、小学校からのプログラミング教育の充実を目指しており、学習環境の整備とともに、教職員の指導力向上が急務となっている。</p> <p>小中学校に教材を整備し、教員の指導力向上に取り組むことで、プログラミング教育の円滑な実施を通じて、子どもたちにプログラミング的思考（論理的思考力）を育み、飛騨市ならではの人づくりを進める。</p>	学 校 教 育 課	<p>〔決算額〕 5,345千円</p> <p>○プログラミング教育の環境整備</p> <p>・教材購入（各小中学校へ） ※小学校理科：プログル6年電気キット ※中学校技術：アーテックロボ2.0キット ※小学校は、コロナのため納品が大幅に遅れた。（納品10/2）</p> <p>・キーボード、プリンターの購入 ※キーボード：iPad用（各校1学級分） ※パソコン室プリンター：各校1台</p> <p>・プログラミング教育の授業の実施 ※各校でのプログラミング教材を使った授業の実施（小学校：6年理科、中学校：3年技術）</p> <p>・プログラミング教育研修会 1/29 ※プログラミング授業（神岡小） ・示範授業（5年算数） 講師：岐阜女子大准教授 松井 徹 氏 ※タブレット活用研究と同時開催</p>	<p>○令和2年度は、各小中学校に教材を整備し、小学校（6年理科）、中学校（3年技術）において、プログラミング教材を活用した授業が実施された。こうしたプログラミング教育の実施を通じて、子どもたちにプログラミング的思考（論理的思考力）を育むことができた。</p> <p>○小中教員がタブレット配備に対応するために、岐阜女子大学准教授の松井徹氏を招へいし、「プログラミング教育を学ぶ」と題し、神岡小で示範授業と研修会を実施でき、教職員のスキルアップにつながった。</p> <p>◎令和3年度は、整備したプログラミング教材をより活用するとともに、ICT支援員の巡回指導や市教育研究所事業の研修会によって、教員のスキルアップを進め、児童生徒がよりプログラミング思考を高めることのできる「授業づくり」を進めていく。</p>	A

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 11)

飛騨市教育委員会・学校教育課

重点 施策	重点 目標	令和2年度の目標	担当課	令和2年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
一人一人を大切に 一人一人のよさを伸ばす教育の推進	一人一人のよさを伸ばす教育の推進	<p>保小中連携教育の推進</p> <p>保育園・小学校・中学校の12年間のスムーズな接続を目指し、見通しをもった一貫性のある生活面・学習面の指導・取組みによって、早期からの教育支援を行い、個に応じた指導・支援の充実や不登校・不応児児童生徒の未然防止を図る。</p>	学校教育課	<p>〔決算額〕 149千円</p> <p>○小中連携教育推進委員会 ・有識者 橋本治 岐阜大学大学院元教授 ・校長、園長、教頭・主幹・教務の代表 ・事務局：教委、子育て応援課 計12名 ※第1回 5/13（コロナのため紙面開催） ・連携事業の推進、今年度の実施計画 ※第2回 9/3 ・保小中連携の取組の現状、課題交流 ・リーフレットの活用について ・学園構想の説明 ※第3回 1/21 ・保小中連携の取組の現状、課題交流 ・来年度に向けて</p> <p>○保小中連携教育合同研修会 9/10 橋本元教授講話 「いじめ・不登校・支援の必要な子への対応 ～保・小・中の連携を通して～」</p> <p>○保小中の巡回（情報交流の促進） ・主幹教諭が各校を巡回し、授業参観や情報交流を進める。</p> <p>○小学校新1年生保護者向けリーフレット ※年長児親子（300部配布）11月</p>	<p>○推進委員会では、保小中連携の現状と課題から、「連携（一貫）教育」の重要性と具体的な取組について積極的な情報交流ができた。リーフレットの活用によって、家庭・保育園・小学校が連携して入学の準備に取り組む環境を整えることを再確認した。</p> <p>○合同研修会では、保小中の連携が児童生徒を大切にし、よさを伸ばす教育に大きく寄与することを学び、教育現場の対応に活かされた。</p> <p>◎令和3年度では、保小中への橋本元教授の巡回（授業参観や情報交流）をより充実する。小学校から中学校への円滑な接続のために、小中学校の交流を増やすとともに、教職員による情報交流会も定期的を実施する。また、推進委員会では、飛騨市としての保小中連携の取組方針や配慮事項をまとめ、学園構想との連携も視野に入れ、具体的な取り組みを進める。</p>	A

様式第2号 (第4条関係)

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 12)

飛騨市教育委員会・生涯学習課

重点 施策	重点 目標	令和2年度の目標	担 当 課	令和2年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
地域に根差した人づくりの推進	社会教育関係団体との人材の育成	<p>社会教育推進事業</p> <p>社会教育法に基づき、幅広い年齢層に対応した各種生涯学習事業の実施に努め、市内の普及浸透に努める。</p> <p>また、社会教育委員から各種の社会教育事業に対する意見等をいただき、可能なものから事業に反映させ内容の充実等を図り、市民が目標を持ち自主的に学習する意欲の向上を図る。</p>	生涯学習課	<p>〔決算額〕 1,212 千円</p> <p>○社会教育委員兼公民館運営審議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の会及び運営委員会2回 ・役員会2回 ・研修会3回(地域学校協働活動について) <p>○部会活動(4部会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てネットワーク部会:11/15 発達支援に関する講演会・コロナ禍における子供の身近な変化について意見交換会。 ・青少年健全育成部会:10/21 スマホに関するモラル講習会及び意見交換会 ・文化芸術振興部会:子供の文化・芸術育成団体との意見交換会 ・生涯スポーツ部会:10/26 白川町におけるスポーツ環境整備の実践の講演会及び意見交換会 <p>・飛騨地区及び県社会教育委員連絡協議会等 計7回</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の普及浸透を目指し、部会単位で関係団体と意見交換を行い、現状や課題を共有することができた。 また「飛騨市学園構想・地域学校協働」への支援や協力、「市民カレッジ」への参画など新しい取り組みに対し取り組むことを確認した。各部会では、会場設営や人数制限に配慮を行いコロナ禍における子供達の変化について活発な意見交換がでるなど情報共有ができ、次年度への課題や活動の方向性を確認した。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員の活動が生涯学習推進会議を構成する部会の参加する関係者しか伝わらなかったことから市民向けに各部会の活動実績や生涯学習に係る情報を掲載した「生涯学習だより」を発行し市民への生涯学習へのPRに努めたが、今後も積極的に情報発信を行う必要がある。また関係団体との情報交換や課題解決に向けた研修会を継続実施する機会を作る。 	A

様式第2号 (第4条関係)

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 13)

飛騨市教育委員会・生涯学習課

重点 施策	重点 目標	令和2年度の目標	担当課	令和2年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
地域ぐるみで子どもを育む活動の推進	青少年健全育成の推進	<p>飛騨市青少年育成推進事業</p> <p>①成人式の開催 成人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする成人たちを祝い、励ます趣旨の式典を開催する。</p> <p>②青少年育成推進員活動 家庭・学校・地域が連携し、青少年健全育成への機運を高める。</p> <p>③少年の主張大会の開催 次代の担い手が自分の考えを大勢の聴講者の前で堂々と述べる力を付けることを目的に実施する。</p> <p>④子ども会活動の推進 地域単位で構成し、おのおのの活動を通じ、将来の地域の担い手となる青少年を育成する。</p>	生涯学習課	<p>①成人式の開催【決算額】1,039千円 開催日：令和3年1月3日 (古川会場) 出席者：170名 (神岡会場) 出席者：63名 計：233名</p> <p>②青少年育成推進員活動【決算額】477千円 ・古川部会：スマホ安全教室、啓発チラシの配布 ・河合部会：啓発チラシの配布 ・宮川部会：啓発チラシの配布 ・神岡部会：挨拶運動の実施、生徒から「のぼり旗」の標語を募集し、設置することで啓発活動を実施。</p> <p>③少年の主張大会 中止 代替措置として個別エントリーした中学生2名を飛騨地区選考会へ市の代表として推薦。</p> <p>④子ども会活動【決算額】 373千円 子ども会連合会を通じ、単位子ども会の運営及び活動費の一部を支援した。単位子ども会数：60団体、子ども会員数：1,403人</p>	<p>① 成人式の開催については様々なリスク検討を行い、来賓参加無し、保護者の事前登録制で1名のみ参加可、全席指定、全クラスに懇親会の中止要請等を行い、式典のみの開催とした。結果、参加者の協力のもと感染者を発生することなく終了することができた。</p> <p>② 青少年育成推進委員の活動は神岡町の挨拶運動の実施を行った一方、古川町のふれあい集会をはじめ各種行事の中止により啓発活動の中止を余儀なくされた。しかし当初計画より縮小し参加者を限定したスマホの安全教室や啓発チラシの配布などにて対応することができた。</p> <p>③ 主張大会は開催が困難であった。</p> <p>④ 単位子ども会のうち河合・宮川町ではレクリエーションを中心に行ったが、その他地区は中止した。代替行事として連合会主催で「飛騨市のいいところみつけよう」と題し写生作文等作品コンテストを初開催した。 宮川町は子供会解散に伴い記念作品づくりを行ったが、全体的に会員数の減少と役員の負担増が懸念される。</p>	A

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 14)

飛騨市教育委員会・生涯学習課

重点 施策	重点 目標	令和2年度の目標	担当課	令和2年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
学び・集い・つながり生涯学習環境づくり	生涯学習環境の充実	<p>公民館管理運営事業</p> <p>① 公民館管理事業 市有公民館を適正に維持・管理する。</p> <p>② 集落有集会施設整備事業（助成事業） 改築工事を実施する際に、支援を行うことにより地域コミュニティの拠点づくりを推進する。</p> <p>③ コロナに負けない元気な地域活動支援 ・集落有集会施設にコロナ対策備品の整備及び懇親会の支援</p>	生涯学習課	<p>① 公民館管理事業〔決算額〕28,452千円 ・市有公民館6施設の維持管理 ・コミュニティ施設(9施設)維持管理費用 河合町公民館玄関 ドア改修工事 古川町公民館屋根防水工事</p> <p>② 集落施設整備補助〔決算額〕3,952千円 ・朱雀会館（古川町）トイレ洋式化 ・袈裟丸公民館（古川町）エアコン導入</p> <p>③ コロナに負けない元気な地域活動支援の補助の実施〔決算額〕8,743千円 ・地区有施設の感染防止対策補助(79団体) アクリル板、非接触型体温計等の整備 ・地域活動支援補助(55団体) 懇親会の代替措置として、持ち帰りする折り詰等の支援</p>	<p>① 河合町公民館の玄関ドアの開閉が重い ためスライド式に改修をしたところ利用者から好評を得た。一方で古川町公民館（築35年）河合町（40年）神岡町（37年）と老朽化に伴い不具合の発生や、今後大規模改修を行っていく必要がある。</p> <p>② 集落有集会施設（90施設）は避難所機能があるが、老朽化に伴い改修費用の負担が重荷になっている。また将来解体への不安が発生している。</p> <p>③ 地域公民館活動はコロナ禍のため、これまで行われたコミュニティ活動が停滞した。そのため感染防止対策と懇親会支援を行い地域コミュニティ活動支援の維持に繋げることができた。</p>	A

式第 2 号 (第 4 条関係)

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 15)

飛騨市教育委員会・生涯学習課

重点 施策	重点 目標	令和 2 年度の目標	担当課	令和 2 年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
生涯学習 機会の提供	ライフ ステージにあわせた生涯学習の推進	<p>各種講座・学級の開催事業</p> <p>① 公民館講座 (市主催)</p> <p>② 誰でも自主講座 市民が自ら講師となっ て講座を開催し、教える 人と学ぶ人が一緒にな って作り上げていく講 座で生涯学習を始める きっかけをつくる。</p> <p>③ 高齢者学級 シニア世代を対象に学 ぶことの楽しさや喜び を感じてもらうととも に、孤立感を無くし社会 とのつながりを高める ことを目的に開催する。</p> <p>④ 市民カレッジ 幅広い知識や専門的な 知識を得るための講座 を開催するもの。</p>	生涯学習課	<p>〔決算額〕 2,247 千円</p> <p>① 公民館講座 21 件 参加者 348 名 ・マスク作り講座 32 名 ・マスク入れ作り講座 18 名 (1 回実施後、緊急事態宣言で中止) ・お家で公民館講座 (朴葉寿司、竹ぼっくり、こけ玉)</p> <p>② 誰でも自主講座 前期 4 講座 参加者 72 名 後期 22 講座 参加者 174 名</p> <p>③ 寿大学 (古川) 4 教室 参加者 70 名 高齢者学級 (神岡) 中止</p> <p>④ 市民カレッジプレ開校 5 講座 参加者 500 名 内容 ・記念講演「村尾信尚氏」 ・飛騨山脈の成り立ち 信州大学理学部特任教授 原山智 など</p>	<p>① 公民館講座では、市内小売店でマスクの品薄を受け、急遽布製マスク作り方講座を実施した。予定していた講座ができないため「朴葉寿司」のレシピ紹介や、昔ながらのおもちや「竹ぼっくり」や「こけ玉」の材料販売など自宅でできる講座に変更するなどどうしたらできるか考え実施した。後期は人数制限の上実施した。</p> <p>② 自主講座を開催するが、ほぼ高齢者層に偏りがあり、若年層の参加が少ない。一方で学んでみたい講座は健康・料理・歴史が多いことから、今後も継続したい。</p> <p>③ 神岡町における高齢者学級は感染防止のため開催を見送った。</p> <p>④ 受講者アンケートから今後も様々なことを学びたいという意見が寄せられていることから令和 2 年度市民カレッジをプレ開校。R3 以降魅力的な講座を企画したい。年齢層が比較的高い層の方の参加にとどまることから、若い世代にも興味を持ってもらえる企画を検討する必要がある。。</p>	B

様式第2号 (第4条関係)

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 16)

飛騨市教育委員会・スポーツ振興課

重点 施策	重点 目標	令和2年度の目標	担当課	令和2年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
地域スポーツ活動の推進	スポーツ推進委員活動事業	地域スポーツの活性化の中心となって活動を行っていくほか、各種スポーツ団体やスポーツ行事の支援を含め、全市的にスポーツを普及促進していく。また、研修会等への参加、スポーツ活動指導者の発掘・育成に努め、資質の向上を図る。	スポーツ振興課	<p>〔決算額〕 826 千円</p> <p>○2年任期の1年目 (総勢30名) 古川町11名 河合町5名 宮川町 6名 神岡町8名</p> <p>○各地区でスポーツ教室等開催 10/11 ふれ愛スタンプウォーク (古川) 10/18 飛騨市ルテックウォーキング教室 in 神岡</p> <p>※中止となった主な行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽スポーツ体験 ・ふれ愛軽スポーツ大会 ・市民登山 ・ふれ愛ソフトミニバレーボール大会 <p>○各地区スポーツ行事の協力 8/ 3~10 (5日間) 市営宮川プールの監視員</p> <p>9/ 5 河合町民運動会</p> <p>○研修会等への参加 3/20 先進地情報交換会 (瑞穂市・本巣市)</p> <p>※中止となった主な行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛騨地区前後期研修会 (高山・飛騨) ・飛騨市スポ推研修会 (飛騨市) ・全国スポ推研究協議会 (栃木県) ・岐阜県スポ推研究大会 (各務原市) ・東海四県スポ推研究大会 (三重県) 	<p>※新型コロナの影響により令和2年度に計画されていた各種事業が中止や延期となる中、これまでの4町ごとの活動から全市的な活動へと更なる事業発展を目指し、組織改編に着手した。</p> <p>【成果】</p> <p>○毎年恒例の河合町民運動会や3密を考慮し、団体予約制とした市営宮川プールの監視員業務に協力。外出自粛や夏休みが短縮となった子供たちの手助けとなった。</p> <p>○ようやく秋に開催できた古川町ふれ愛スタンプウォークでは多数の参加を頂き、コロナ禍において子ども達の笑顔を見ることができた。</p> <p>○組織改編に向けた市内の実態把握を行う為、全委員を対象とした会議や先進地視察を行い情報交換を行った。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●組織改編に伴い、各部会の業務バランスの調整や各町の意見集約に努める。 ●市内外を問わず、軽スポーツに関する情報感度を高め、飛騨市の実情に見合った活動に努める。 	A

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 17)

飛騨市教育委員会・スポーツ振興課

重点 施策	重点 目標	令和2年度の目標	担当課	令和2年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
地域 スポーツ 活動の 推進	スポーツ 団体育 成	<p>各スポーツ団体の組織づくりと強化を進め、競技力の向上、青少年の健全育成、スポーツ活動やレクリエーションの普及等、スポーツ推進、指導者の育成支援等を行い、スポーツによる地域の活性化を図る。</p> <p>【支援内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付金・補助金交付 ・事務局支援 <p>【対象団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛騨市体育協会 ・飛騨市スポーツ少年団 ・飛騨市レクリエーション協会 ・山の村だいこんマラソン大会実行委員会 ・飛騨シューレ ・飛騨かわい剣友会 	スポーツ 振興 課	<p>【体育協会】(決算額:2,947千円)</p> <p>7/30 スポーツ講演会(県スポーツ協会:武藤事務局長) 35名</p> <p>8/29 他市体育協会視察(瑞穂市・郡上市) 12名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織改編に伴う本部役員会議(14回) <p>【スポーツ少年団】(決算額:256千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポ少指導者研修会(中止) ・スポ少リーダー研修(中止) <p>【飛騨市レク協会】(決算額:468千円)</p> <p>4/1 飛騨市レクリエーション協会設立(書面評決)</p> <p>【山の村だいこんマラソン】(決算額:0千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山の村だいこんマラソン大会(中止) <p>【飛騨シューレ】(決算額:0千円)</p> <p>11/7 バドミントン競技者・指導者のためのエキシビジョンマッチ 41名</p> <p>11/19 宮下充正先生講演会 50名</p> <p>11/21 宮下先生ウォーキングセッション 42名</p> <p>12/3 萩原美樹子氏との意見交換会 13名</p> <p>12/17 佐藤晃一氏講演会 12名</p> <p>【飛騨かわい剣友会】(決算額:200千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・剣道練成会・剣道アカデミー(中止) 	<p>【体育協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍でほぼ全ての大会が中止となったが、これを好機と捉え、合併以降懸案であった組織改編に着手、講演会や先進地視察、数十回に及ぶ会議で検討を重ね、新体制として発足にこぎつけた。 ●予算や大会の運営など、各競技団体との調整が必要。 <p>【スポーツ少年団】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外部委託化の実現に向けた検討を実施 ●単位団ごとに実態調査を行い、市の現状に即した補助制度等の整備が必要。 <p>【飛騨市レク協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○飛騨市に於けるレクリエーション活動の普及・振興並びに市民の余暇時間の充実と健全な心身の発達を目的に設立。 <p>【飛騨シューレ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○感染対策を徹底し、オリンピックやトップアスリート、著名人を招待しての講演会・講習会を実施。子供から一般まで技術や指導方法、運動メカニズムを探求する事ができた。 ○スポーツ学童の実証実験が高評価であり、今後、市独自で取り組んでいく。 	A

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 18)

飛騨市教育委員会・スポーツ振興課

重点 施策	重点 目標	令和2年度の目標	担当課	令和2年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
地域スポーツ活動の推進	スポーツ行事推進	飛騨市内で行われるスポーツイベントや市民が参加しやすいスポーツ行事の運営をスポーツ関係団体等に委託して実施。より多くの市民がスポーツに関心を持ち、親しみながら健康づくりを図る機会を増やしていく。	スポーツ振興課	<p>【決算額】 934 千円</p> <p>10/11 古川町ふれ愛スタンプウォーク 180 名</p> <p>11/ 1 第 57 回飛騨駅伝競走大会 4 部門 37 チーム</p> <p>○その他のスポーツ推進事業 「だれでもカンタン!おうちレク」の動画作成(第1弾~第8弾)及びYouTubeにて配信</p> <p>※中止となった主な行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 剣道錬成会及び飛騨かわい剣道アカデミー ・ FC 岐阜子どもサッカー教室 ・ 飛騨市民登山 ・ 古川町スポーツフェスティバル 2020 ・ ふれあいソフトミニバレーボール大会 ・ 飛騨市ふるかわ元旦マラソン 2021 (記念大会につき1年延期) 	<p>【成果】</p> <p>○コロナ禍に於いて感染症対策を十分に行ったうえで「古川町ふれ愛スタンプウォーク」を実施、多数の子供たちの参加を頂き、過去最高の参加者となった。</p> <p>○第57回飛騨駅伝競走大会ではコロナ禍での大会となったが、主催者、市、飛騨県事務所、飛騨保健所が協力し、感染防止対策会議を複数回開催、他の大会のモデルとなるような感染症対策を施した大会となった。</p> <p>○自宅でできるレクリエーション動画の配信はコロナ禍に於ける緊急事態宣言等の発出により不要不急の自粛を余儀なくされた子供及びシニアのフレイル防止対策になった。動画は好評により第8弾まで作成し配信した。</p> <p>【課題】</p> <p>●コロナ禍において各種スポーツ行事ごとに感染症対策ガイドラインを作成しながら安心安全な大会を開催する。</p>	A

様式第2号 (第4条関係)

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 19)

飛騨市教育委員会・スポーツ振興課

重点 施策	重点 目標	令和2年度の目標	担当課	令和2年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
地域スポーツ活動の推進	ウォーキング推進事業	市民の健康意識の高まりを踏まえて、年齢問わず、誰でも気軽に取り組むことができるウォーキングを普及させる。 ノルディックウォーキング、クアオルト健康ウォーキング、カントリーウオークをウォーキング3事業として、より一層のスポーツ施策の普及を図る。	スポーツ振興課	<p>【決算額】 4,529千円</p> <p>【クアオルト健康ウォーキング】</p> <p>9/ 6 クアの道®アルプス展望神秘の森コース「認定式」及び「記念ウォーキング」30名</p> <p>7/ 1~クアオルト健康ウォーキング(毎週土曜日開催)</p> <p>【ノルディックウォーキング】</p> <p>11/21~22 ノルディックウォーキング公認指導員資格取得講習 6名</p> <p>10/18 飛騨市ノルディックウォーキング教室 in 神岡 24名</p> <p>10/25 第2回飛騨市ノルディックウォーキングフェスタ in 古川 39名</p> <p>【飛騨流葉数河カントリーウオーク】</p> <p>2/28 第12回北アルプス展望スノーシュー&テレマークスキーツアー 19名</p> <p>・第18回飛騨神岡ツデーウオーク(中止)</p>	<p>【成果】</p> <p>○クアオルトでは神岡町流葉地内に市内では3コース目となる「クアの道®アルプス展望神秘の森コース」がオープンし認定式と記念ウォーキングを行った。また、定例ウォーキングでは対前年比で2倍強の利用があった。</p> <p>○ノルディックウォーキング公認指導員資格取得講習に過去最高6名が受講。</p> <p>○第2回となる「飛騨市ノルディックウォーキングフェスタ」を古川町で開催。参加者は市内限定となったが、参加者同士で交流を行い、幅広く情報交換を行うことができた。</p> <p>○ツデーウオークは中止となったが、冬の事業であるスノーシューは市民限定で実施。冬の北アルプスを満喫することができた。</p> <p>【課題】</p> <p>●クアオルトについては独自コースの設定と計画的なガイド養成・増員が必要。</p> <p>●飛騨神岡ツデーウオークは参加者の減少が懸念されており、魅力あるウォーキングにするための対策が必要。</p>	A

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 20)

飛騨市教育委員会・スポーツ振興課

重点 施策	重点 目標	令和2年度の目標	担当課	令和2年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
地域スポーツ環境の充実	スポーツ施設整備事業	市民が真摯にスポーツに勤しめるよう、体育施設を適正に管理運営し、必要なニーズに応じて改修等を行うことで安心安全な体育施設を維持管理していく。また、平成30年度策定した「飛騨市スポーツ施設整備計画」に基づき、施設の重要性、利用頻度、老朽度合い等から優先度の高い順に改良整備、維持管理を行っていく。	スポーツ振興課	<p>【決算額】 104,883 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体育施設管理事業（36施設）40,834 千円 ○社会体育施設の維持改修他 57,610 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・森林公園キャンプ場トイレ洋式化工事 ・サン・スポーツランドふるかわトイレ洋式化工事 ・古川トレーニングセンター改修工事 ・サン・スポーツランドふるかわ防球ネット設置工事 ・角川体育館トイレ洋式化工事 ・角川屋内運動場消防法適合改修工事 ・稲越ゲートボール場拡張工事 ・サイクリングロード災害復旧工事 ・その他工事 ○一般備品購入費 5,316 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・桜ヶ丘体育館柔剣道場柔道畳購入 ・飛騨かわいスキー場スキー競技用計時装置購入 ○飛騨市屋内運動場整備検討委員会 1,123 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・検討委員会の開催（8名：1回） ・森林公園既存施設（管理棟、宿泊棟、テニスコート）解体工事設計業務委託 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体育施設の維持管理及び修繕工事については、突発的な修繕が増え、予算流用にて対応を行った。また、施設の大規模改修工事については、「飛騨市スポーツ施設整備計画」に沿って事業を進めることができた。 ○有利な補助事業を利用し、サン・スポーツランドふるかわに防球ネットの設置及び老朽化していたスキー競技用計時装置を購入することができた。 ○飛騨市屋内運動場整備検討委員会ではコロナ禍において1回の会議のみとなったが、現在の進捗状況及び今後のスケジュールについて報告を行えた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●同一年代を経過した施設の老朽化 ●各体育施設の利用頻度や用途に合わせた施設の見直し ●行政財産から普通財産への整理が必要 	A

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 21)

飛騨市教育委員会・文化振興課

重点 施策	重点 目標	令和2年度の目標	担当課	令和2年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
図書館事業の推進	図書館の充実	<p>図書館運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書購入等事業 利用者ニーズにマッチした選書やリクエスト本の購入に努めるとともに古い蔵書を順次更新するなど利用者にとって魅力ある図書館を目指す。 ・来館促進自主イベント事業 これまで図書館に来館されたことの無い層をターゲットとしたイベント企画・実施することで、新たな図書館利用者の掘り起こしにつなげる。 	文化振興課	<p>〔決算額〕 7,989千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蔵書購入：5,742冊/年 図書館利用者のニーズに合った図書選書に努めるとともに古い蔵書を順次更新し、魅力ある蔵書を揃えた図書館を目指した。 利用者数：22,230名（市図書館） 10,365名（神岡図書館） <p>〔決算額〕 53千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大により、休館・事業の中止を余儀なくされたが、イベントは9月より順次再開し、子ども向けの読み聞かせ会やハロウィンイベント、歴史講座など各種来館促進事業を開催した。イベント実施回数は13回、参加者は延べ907名となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・司書職員3名の退職により令和2年度当初の図書館業務の縮小を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大のため4月から約1か月間休館し、職員の欠員は7月までに補充が完了した。また、抜本的な職員体制の構築を図るため、継続して正規職員の募集を行った。 ・コロナ禍による臨時休館中でもウェブを活用した広報や、ウェブ予約による貸出業務を継続して行った。 ・コロナ禍で得た知見を活かし、従来のイベント型の来館促進のみではなく、来館しなくても図書が利用できる環境整備のため、電子図書館（電子図書貸出サービス）の導入や、障がい者向けの郵送貸出サービス、読書支援機器の導入を行い、誰でも使いやすい図書館を目指す。 	A

様式第2号 (第4条関係)

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 22)

飛騨市教育委員会・文化振興課

重点 施策	重点 目標	令和2年度の目標	担当課	令和2年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成 果・課 題	
文化施設・文化交流施設の充実	美術館運営・文化施設の運営	<p>文化施設運営事業</p> <p>【飛騨市美術館】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民が芸術文化鑑賞に興味・関心を持てるような企画展を開催するとともに、多様な文化芸術を創造するアートセンターを目指し、文化芸術に関わる展示活動・芸術活動・研究活動・人材開発面活動・記録活動などの総合的な市民の文化芸術活動に対応(支援)する運営を目指す。 <p>【みやがわ考古民俗館】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市で収蔵する多数の考古資料や民俗資料等の地域資源を活かし、市民に歴史文化に親しんでもらう機会を創出する。 	文化振興課	<p>〔決算額〕 2,972千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 飛騨からうまれた絵本展 会期：24日 入館者数：238名 宮川、高原川の伝統漁法・魚食文化展 会期：44日 入館者数：700名 小枝利汎展 会期：44日 入館者数：601名 何にみえる？何を感じる？～抽象美術へのいざない～ 会期：26日 入館者数：152名 WS関連：11/8～全4回、「日本画教室入門」、7/26～全4回、「子どもミニ木版画教室」、8/1～全3回「子ども美術教室 山中和紙を使ったランプシェードづくり」 美術館運営委員会：2回/年開催 	<ul style="list-style-type: none"> 4月～5月の緊急事態宣言に伴う休館以外は予定通り展覧会を実施した。入館者数は緊急事態宣言中の春季と冬季は減ったものの、夏期・秋期は地元を中心に来館いただき、コロナ禍であっても飛騨の文化・芸術にふれていただく機会を提供することが出来た。また、コロナ禍にあって、家でも楽しめるよう、展覧会に関連する動画を作成し、飛騨市公式YouTubeチャンネルで発信した。今後の美術館の在り方については、美術鑑賞だけに留まらず、引き続き郷土の歴史や自然、生活文化を広く市民に伝え、それらを次世代に継承する美術館運営を展開したいと考える。 	A
				<p>〔決算額〕 40千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 飛騨みやがわ考古民俗館では、開館日数や入館者数にとらわれない評価の在り方を、平成30年度から継続して任意団体である石棒クラブと協働して模索してきた。 オンラインツアー (5/3) 170名参加 オンラインクエスト (9/19) 30名参加 その他、トークイベント4回 (YouTube配信あり)、石棒スペシャルツアー (バックヤードツアー) など 	<ul style="list-style-type: none"> 年間30日しか開館していない飛騨みやがわ考古民俗館をいかに発信していくかという課題に継続して取り組んでいる。3Dデータのオープンデータ化やオンライン配信など、当館と石棒クラブの活動の成果として、同館敷地内の旧中村家の茅葺き屋根の修復に1,200万円のふるさと納税のご寄付をいただいた。また、NHK、中京テレビ、日本経済新聞、朝日新聞などに取り上げられるなど、多くの方の目に触れる機会を得た。 	

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 23)

飛騨市教育委員会・文化振興課

重点 施策	重点 目標	令和2年度の目標	担当課	令和2年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
地域の歴史や文化財の保護と継承	伝統芸能と伝統文化の継承・文化振興財の調査	地域歴史資源活用事業 ①古川祭研究事業 ②江馬氏館跡整備活用事業 ③姉小路氏関連城館群(山城跡)整備活用事業 ④埋蔵文化財発掘調査等事業 上記事業により、歴史資源の調査・保護・活用を図るとともに、市民に自分たちの住む町の地域資源の歴史的価値を知ってもらい、地域への誇りや愛着心を育む。	文化振興課	① 〔決算額〕 18千円 古川祭の文献等の収集に努め、歴史的背景を調査・研究した。その成果のまとめ方を検証する委員会を立ち上げた。	・地域歴史資源活用事業として、様々な事業を実施したことにより、山城は飛騨市にとって重要な歴史遺産であると認識されつつあり、地元の協力体制など徐々にではあるが郷土への誇りや愛着心の醸成に繋がってきている。 江馬氏関連では、現在県史跡の「傘松城跡」の国史跡「江馬氏城館跡」への追加指定を、姉小路氏関連については更に総合調査を進め、いずれも令和5年度の国史跡指定を目指す。 令和2年度は岐阜県発掘調査報告会で発表するなど、市外でのPRにも努めた。また、観光協会による江馬館の実験的活用事例によりこれまでにない活用方法の気づきを得た。 今後もHPのみならず、YouTubeやSNSでの情報発信を積極的に行うとともに市民の皆さんと活用について考える機会を作り、地域にある歴史資源を活かした飛騨市らしい個性的な町づくりを進める。	A
		② 〔決算額〕 3,746千円 昨年策定した保存活用計画書に基づき適切な施設運営に努めるとともに、観光協会に、史跡価値の普及・利活用検証事業を委託した。 ・神岡フレンチ@江馬館(10/1)10名 ・フォトウェディング@江馬館(10/19)		③ 〔決算額〕 1,751千円 古川城跡での発掘調査説明会、調査状況の動画作成、恒例の歴史講座を実施した。 また、調査結果を踏まえた山城の想像復元イラストを作成しHPに公開した。		

様式第2号（第4条関係）

事務事業の執行状況 点検評価シート(事業番号 24)

飛騨市教育委員会・文化振興課

重点 施策	重点 目標	令和2年度の目標	担当課	令和2年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果・課題	
心を豊かにする文化芸術の推進	文化や芸能にふれあう機会の提供 文化芸術関係団体の育成と連携	<p>地域文化振興補助事業</p> <p>①交流施設企画運営事業 文化交流センターで実施する企画事業を委託し、地域の賑わい創出と芸術文化活動の活性化を図る。</p> <p>②文化振興補助事業 文化芸術の振興や伝統芸能の継承を図るため、団体が実施する事業に対し、補助金を交付する。</p> <p>③文化協会活動振興交付事業 飛騨市文化協会の活動を支援するために交付金を交付する。</p> <p>③荒垣秀雄氏の顕彰事業 故荒垣秀雄氏が残した功績を後世に伝える目的で作文コンクールを開催する。</p>	文化振興課	<p>①【決算額】 6,763千円 コロナの影響により当初計画した12事業のうち6事業のみの実施となった。 ・ジャズコンサート 来場者127名 ・東京混声合唱団コンサート 来場者229名 ・その他4事業 延べ来場者217名</p> <p>②【決算額】 645千円 市民に優れた文化や芸術に触れ合う機会を提供するため、発表会の開催や用具の購入に対して支援した。また、伝統芸能の後継者育成のため地歌舞伎の公演に対して補助を行ったが、開演直前にコロナ感染拡大の影響により中止となった。 ・文化協会事業（短歌・俳句コンクール等6事業） 225千円 ・古川町民謡保存会衣装購入 300千円 ・河合町歌舞伎保存会 120千円</p> <p>③【決算額】 2,556千円 市文化協会への活動補助として補助した。会員数890人</p> <p>④【決算額】 145千円 第3回目の「作文コンクール」を実施した。（応募作品数：49）</p>	<p>①コロナ禍により、多くの事業が中止、規模縮小での開催となったが、感染対策を徹底するなど制限のある中で工夫を凝らし開催した。</p> <p>②補助申請された事業も固定化しており、新規来場者が増加するような工夫や、幅広い層の市民が来場するためのPRが必要と考える。</p> <p>③市文化協会では、市内における芸術文化の発展を促進するために、各種団体を取りまとめながら文化事業を実施されているが、会員数が減少しており規模に見合った事業の開催も検討する必要がある。</p> <p>④作文コンクールには今年度も優秀な作品があったが、応募数は過去最少となった。コロナ禍による夏休みの短縮等も要因の一つと推測するが、次年度は例年より早い時期に募集を開始し応募促進に努める。</p>	B